

関東東山病害虫研究会報 第65集 (2018年12月)
目 次

報 文
特 別 講 演

私達の線虫研究の歩み—IPM 研究と防除手段30年の転変—……………水久保隆之 1

病 害 の 部

(イネ・ムギの病害)

栃木県における QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生……………齊藤良佳 14

山梨県におけるイネ株腐病の発生……………舟久保太一・Noor Febryani・石田久美子・村上芳照・瀧川雄一 16

転炉スラグの土壌混和とシメコナゾールの出穂前散布によるイネ稲こうじ病の発病抑制……………芦澤武人・津田幹雄・江口浩喜 19

LAMP 法によるオオムギ斑葉病菌保菌種子の迅速検定 ……………駒場麻有佳・山城 都・高橋怜子・山崎周一郎・福田 充 22

(畑作物・野菜の病害)

トマトかいよう病二次伝染防止のためのハサミ消毒の重要性……………高橋怜子・福田 充・山崎周一郎・駒場麻有佳 26

圃場での青枯病発症トマトを介した土壌の病原細菌汚染……………井上康宏・中保一浩 29

イチゴ品種「さらび香」および「紅ほっぺ」における微酸性次亜塩素酸水の育苗期の頭上灌水による炭疽病の発病低減効果
……………中村悌一・井狩 徹・田中美順・山内恒治・阿部文明 32

メロンえそ斑点病発病土壌から効率的に病原ウイルスを検出するための条件の検討
……………久保周子・鐘ヶ江良彦・植松清次・河名利幸 35

ニンジンしみ症病斑から *Fusarium oxysporum*, *F. solani* および *Pythium sulcatum* を検出するためのマルチプレックス PCR
……………中田菜々子・横山とも子・中村耕士 39

ニンジンしみ腐病優占圃場におけるしみ症発生の品種間差異について
……………中村耕士・大井田 寛・鈴木健司・横山とも子・中田菜々子・高橋真秀 44

(果樹の病害)

神奈川県育成中晩生柑‘湘南ゴールド’に発生した狭義 *Colletotrichum gloeosporioides* によるさび果病
……………二村友彬・西村武祥・廣岡裕史・折原紀子 47

ナシ花梗部を発病再現させるための黒星病菌分生子の接種方法の検討 ……………金子洋平・福田 寛 53

千葉県におけるナシ黒星病の芽基部での発病を防ぐことを目的とした催芽期および発芽期におけるキャプタン水和剤の利用
……………金子洋平・福田 寛 57

(特用作物の病害)

Fusarium solani 種複合体によるウラルカンゾウ株枯病 (新称)
……………佐藤豊三・五十嵐元子・菱田敦之・川原信夫・一木 (植原) 珠樹 61

虫 害 の 部

(イネ・ムギの虫害)

イチモンジセセリ幼虫に対する BT 水和剤の散布適期……………石崎摩美・石島 力・三浦重典 65

(畑作物・野菜の虫害)

神奈川県および茨城県で採集されたミカンキイロアザミウマのトマト寄生性およびトスポウイルス2種の媒介効率
……………櫻井民人・千秋祐也・大矢武志・安部 洋 70

土耕栽培におけるバーベナ‘タピアン’に放飼したタバコカスミカメのトマト株上への分散
……………日本典秀・長坂幸吉・植原健人・中保一浩 74

神奈川県のトマト抑制栽培における害虫新防除体系の検討……………大矢武志・島田涼子 78

キュウリ抑制栽培におけるタバコナジラミバイオタイプ Q に対するスワルスキーカブリダニの
バック製剤およびボトル製剤間の防除効果比較……………大矢武志・折原紀子 83

ナケルクロアブラバチおよびコレマンアブラバチのバンカー型製剤を利用したイチゴのアブラムシ類防除
……………小林 誠・大野茉莉・西村浩志・福田 充 87

促成イチゴ栽培におけるコレマンアブラバチとナケルクロアブラバチのバンカー型製剤を用いたアブラムシ類に対する
密度抑制効果……………柳田裕紹・長坂幸吉・手塚俊行・小原慎司・伊藤健司 91

次世代型バンカー資材キットによる施設ピーマンおよびナスでのアブラムシ類に対する防除効果
……………長坂幸吉・日本典秀・光永貴之・上杉龍士・有本 誠・手塚俊行・小原慎司・伊藤健司 96

アブラムシ類の二次寄生蜂の発生に及ぼす防虫ネットと地表被覆シートの影響	長坂幸吉・光永貴之	103
神奈川県平塚市の圃場および周辺植生におけるヒメハナカメムシ類の発生推移と種構成	川田祐輔・大矢武志・糸山 享	106
神奈川県における数品種のオクラ上でのヒメハナカメムシ類の発生推移	伊藤 楽・鶴田万智・糸山 享	111
茨城県の施設キュウリにおけるミナミキイロアザミウマ <i>Thrips palmi</i> Karny に対する薬剤感受性	高木素紀・後藤 舞・久恒和雅・草野尚雄・鹿島哲郎	115
千葉県銚子市におけるコナガ（チョウ目：コナガ科）のジアミド系殺虫剤を含む6薬剤に対する感受性	名雪将史・清水敏夫・大井田 寛	118
千葉県銚子市で採集したキスジノミハムシ（コウチュウ目：ハムシ科）に対する各種殺虫剤の効果	名雪将史・清水敏夫・大井田 寛	121
ネギネクロバネキノコバエ成虫に対する薬剤の効果	岩瀬亮三郎・小俣良介	123
シソサビダニの越冬生態と生殖休眠条件	鈴木俊之・上遠野富士夫・鍵和田 聡・多々良明夫	125
ヤマトイモ栽培におけるガス難透過性フィルム（VIF）による土壌燻蒸剤の大気放出抑制効果 および被覆資材と土壌燻蒸剤がネコブセンチュウ防除効果に及ぼす影響	小倉愉利子・関上直幸	130
（果樹の虫害）		
群馬県利根沼田地域におけるブルーベリータマバエの発生消長	堀込 充・吉濱 健・安達辰男・櫛川 聡	134
ニセナシサビダニに起因するニホンナシのモザイク症状に対する各種薬剤の被害抑制効果	中井善太・大谷 徹・福田 寛	136
東京都のナシにおけるナミハダニ黄緑型の薬剤感受性と葉の巻きによる薬液付着量の低下が死亡率に及ぼす影響	飯塚 亮・嶋田 綾・坂本 彩・加藤綾奈・山口修平	139

第65回研究発表会講演要旨

病害の部

トマトかいよう病に対する高接ぎ木法および各種消毒資材の防除効果の検討	高橋怜子・福田 充・山崎周一郎・駒場麻有佳	144
イチゴうどんこ病に対する微生物殺虫剤の防除効果	山岸菜穂・野口忠久・山中 聡	144
模擬的な太陽熱土壌消毒によるネギ黒腐菌核病菌菌核の致死条件の検討	伊代住浩幸・斉藤千温	144
千葉県の春夏どりニンジンにおける乾腐病の感受性の品種間差について	中村耕士・大井田 寛・鈴木健司・金子洋平・中田菜々子	144
長野県におけるレタスべと病の発生状況および防除対策	石山佳幸・小松和彦・小木曾秀紀・山下 亨	145
神奈川県内で発生したウメ灰星病の発生実態と防除	岡本昌広・島田涼子・池田和裕・曾根田友暁・中島 修・折原紀子	145
トウモロコシすす紋病の発生と気象条件	岡部郁子	145
キャベツピシウム腐敗病による結球部の褐変症状の圃場での再現	三國和彦・三木静恵・池田健太郎・大河原一晶・酒井 宏	145
茨城県のミズナ周年栽培圃場における立枯れ症の発生実態	田中弘毅・林 可奈子・宮本拓也・鹿島哲郎	146
<i>Botrytis cinerea</i> によるカンゾウ灰色かび病（新称）および <i>Athelia rolfsii</i> によるジオウ白絹病（新称）	佐藤豊三・飯田 修・五十嵐元子・菱田敦之・川原信夫・一木（植原）珠樹・根本 博	146
トマト黄化えそウイルスによるラッカセイ黄化えそ病（病名再提案）	奥田 充・斉藤千温・土井 誠・一木（植原）珠樹・花田 薫	146
メロンえそ斑点病発病圃場から効率的に病原ウイルスを検出する条件	久保周子・鐘ヶ江良彦・植松清次・河名利幸	146
LAMP法によるオオムギ斑葉病保菌種子の迅速診断	駒場麻有佳・山城 都・高橋怜子・山崎周一郎・福田 充	147
水稲病害虫複合抵抗性品種「彩のきずな」の減農薬栽培	酒井和彦・植竹恒夫	147
コムギ赤かび病、さび病類の効率的防除法の検討	中島宏和・萬田 等・豊嶋悟郎	147
山梨県におけるイネ株腐病の発生	舟久保太一・瀧川雄一	147
高密度播種育苗・疎植栽培の病害防除	萬田 等・中島宏和・豊嶋悟郎	148
栃木県におけるQoI 剤耐性イネいもち病菌の発生	齊藤良佳・塚原俊明・渡邊 守	148

虫害の部

明治大学黒川農場における施設イチゴの害虫管理	中村晃紳・鶴田万智・小泉寛明・川田祐輔・大矢武志・糸山 享	149
イチゴのマイナー害虫であるイチゴケナガアブラムシの増殖率と天敵による防除の可能性について（I）	光永貴之・大野茉莉・小林 誠・福田 充・長坂幸吉・後藤千枝・本多健一郎	149
次世代型バンカー資材キットを核としたイチゴの輸出に対応できるアブラムシ類防除技術の検討	柳田裕紹・長坂幸吉・手塚俊行・小原慎司・伊藤健司・小林 誠・大野茉莉	149

次世代型バンカー資材キットによるナス・ピーマンでのアブラムシ類に対する防除効果長坂幸吉・日本典秀・光永貴之・上杉龍士・有本 誠・手塚俊行・小原慎司・伊藤健司	149
赤銀色マルチはワケネギのアザミウマ類を減らすか? : 予備試験.....大林隆司・八瀬順也	150
「赤色防虫ネット」は何故アザミウマ類に対して高い防除効果を示すのか大矢武志・川田祐輔・浜田泰子・阿部弘文・廣橋寿祥・金満伸央・安部 洋・植草秀敏	150
高輝度 LED 防除器「レピガードシャイン」による施設栽培カラーピーマンのオオタバコガ被害軽減効果金子政夫・野口忠久・桑澤久仁厚・宮澤孝幸・南島 誠	150
灌水同時施肥装置を利用した土壌くん蒸剤による古株枯死処理と D-D 剤併用によるピーマンネコブセンチュウの防除効果安田智昭・高安美保・小川孝之	151
土壌還元消毒における土壌へのアワユキセンダングサ煮沸抽出物施用がサツマイモネコブセンチュウ密度抑制効果, トマトの生育および収量に及ぼす影響.....齊藤俊一・鐘ヶ江良彦・武田 藍・國友映理子・福田 寛・田場 聡	151
マイクロプレートを使用したネダニ類の簡易な薬剤検定法とその感受性.....宇賀博之	151
ネギハモグリバエとネギアザミウマの黄色粘着トラップへの誘殺およびネギハモグリバエの羽化時間帯土井 誠・中野亮平・石川隆輔・片山晴喜	152
ネギネクロバネキノコバエ成虫に対する薬剤の効果とネギ残渣対策.....岩瀬亮三郎・渡辺俊朗・小俣良介	152
ウメ輪紋ウイルスのアブラムシ有翅虫による媒介.....櫻井民人・千秋祐也・久保田健嗣・宇杉富雄・津田新哉	152
天敵保護装置「バンカーシート®」を用いたニホンナシのハダニ類の密度抑制中井善太・武田 藍・金子洋平・福田 寛・園田昌司・大谷 徹	152
東京都のナシにおけるナミハダニの薬剤感受性および葉の巻きによる薬剤付着量の低下飯塚 亮・嶋田 綾・坂本 彩・加藤綾奈・山口修平	153
栃木県内モモ園地におけるクビアカツヤカミキリ <i>Aromia bungii</i> (Faldernann) の発生状況および防除対策の検討小林 誠・大野茉莉・福田 充・渡邊 守・小山田浩一・渡邊浩樹・春山直人	153
モモのカイガラムシ類幼虫の分散と定着に関する観察.....内田一秀・村上芳照・綿打享子・功刀幸博	153
海外製フェロモントラップを活用したブルーベリータマバエ発生消長の解明.....藍澤 亨・小林逸郎・吉濱 健・徳田 誠	153
長野県における LED 光源を利用した予察灯の水稻害虫に対する誘引性.....阿曾和基・豊嶋悟郎	154
斑点米カメムシ類のフェロモントラップによるクモ類のモニタリングの可能性.....石島 力	154
イネ縞葉枯病発病抑制のためのヒメトビウンカに対する効果的な薬剤防除体系.....諏訪順子・北村 舞・西宮智美	154
イチモンジセセリ幼虫齢期に対するBT剤散布の効果.....石崎摩美・石島 力・三浦重典	154
大型施設トマト栽培でのコナジラミ類に対するタバコカスミカメの密度抑制効果.....長澤恵介・日本典秀・後藤格士	155
5種のウリ科作物におけるヒメハナカメムシ類および餌害虫類の発生推移.....井手雅和・糸山 享	155
シソサビダニの越冬生態と休眠条件.....鈴木俊之・多々良明夫・上遠野富士夫・鍵和田 聡	155
茨城県の子実用トウモロコシ栽培におけるアワノメイガの発生と被害.....平江雅宏・柴 卓也・松崎守夫	156
土壌や珪砂を用いないヒョウタンゾウムシ類の新たな採卵方法.....大井田 寛・福田 寛・鈴木健司・清水喜一	156
ダイズ子実吸汁性カメムシ類の防除回数削減に向けた IPM の実証.....植竹恒夫・酒井和彦	156

そ の 他

関東東山地区に新たに発生が確認された病害虫 (2017年度)	157
本会記事.....	160
英文目次 (CONTENTS)	162
関東東山病害虫研究会投稿規定, 執筆要領.....	164
関東東山病害虫研究会賛助会員.....	171